

図書だより

〈発行者〉 前期 第1号
高郷中学校学習図書委員会
〈発行日〉
令和元年7月28日(火)

夏休みの図書の貸し出しを行っています！

★今年も「読書感想文」が国語科の夏休みの課題になりますが、もう読む本は決めましたか？学習図書委員会では、**夏休みの本の貸出(1人2冊まで)**を行っています。新刊も入りましましたので、まだ図書室をのぞいていない人は、今週の昼休みが最後のチャンス！ぜひ図書室に寄ってみてください。青少年読書感想文コンクールの課題図書(3冊)も入りましました。毎年、中学生に読んでほしい内容、中学生の力で読める本が選ばれているので、読書感想文を書くのにオススメです。これからも新刊を購入する予定ですので、2学期をお楽しみに！

新刊コーナーと月変わりの特集スペースが充実！

★今年度も、新刊コーナーと月変わりの特集スペースを充実させていきますので、皆さんチェックしてください！1学期に入荷した主な新刊は、以下の通りです。高郷中の図書室は、話題の文芸書から、ちょっとマニアックな本まで、いろんなジャンルの本が揃っています。きっと読みたい本が見つかりますので、皆さんの来室をお待ちしています！

＜1学期入荷の主な新刊＞ ※ ○印は今年度の課題図書
・2030年のハローワーク ・記憶屋(文庫)1、2、3、0
・アフターマン ・新恐竜 ・なぜ僕らは働くのか
・見上げた空は青かった ・もっと ざんねんないきもの辞典
・戦国武将の死亡診断書 ・幕末志士の死亡診断書
・絶対に出る世界の幽霊屋敷 ・続 わけあって絶滅しました
・ライオンのおやつ ・54字の物語 参、史、ZOO
○天使のにもつ ○11番目の取引
○平和のバトン～広島の高校生たちが描いた8月6日の記憶



↑図書室に入ってすぐ左が新刊コーナー。今年度も不思議な本がずらり！自分では買わないジャンルの本や、高くてなかなか買えない本が読めるのも図書室のいいところ♪



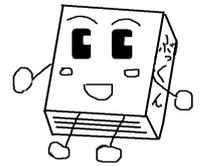
←もはや毎年恒例？となった夏のホラー特集！早速手にした0先生「怖すぎてトラウマになるレベル！」

学習図書委員会からのお願い

★図書貸出カードを見ると、2年生を中心に本を借りている人が多く、とても嬉しく思います。2学期は、全学年の利用をお待ちしています！
★本を借りるときは、しっかりと手続きを行いましょう。図書当番に本を見せて、貸出簿に記入してもらおうとともに、貸出カードには忘れずに自分で記入しまししょう。次に読みたい人がいますので、返却日は守るようにお願いします。



今年の課題図書3冊が図書室に入りました！



「天使のにもつ」いとうみく 著（童心社）

【内容の紹介】

中学2年の斗羽風汰が、軽いノリで選んだ職場体験先は保育園。風汰は、ため息と絶叫の5日間の職場体験を通して、普段の中学生活では関わることのない世の中の現実に向き合う。それらは現代における私たちの社会のリアルな現実。中学生の風汰に何ができるのか。煩悶の末に辿りついた答えは？

「11番目の取引」アリッサ・ホリングスワース 作
もりうちすみこ 訳（鈴木出版）



【内容の紹介】

アフガニスタン難民のサミと祖父の心の支えであり、稼ぐ手段だった伝統楽器ルバブが奪われた。強奪されたルバブを買い戻すためには、1か月以内に700ドルが必要だ。サミは友だちの助けを借り、自分の持ち物で物々交換の取引を始める。果たして、700ドルを用意できるのか？！



「平和のバトン～広島の高中生たちが描いた8月6日の記憶」
弓狩匡純 著（くもん出版）

【内容の紹介】

原爆が投下されて75年。やがて被爆者がいなくなれば、失われる記憶。「このままでは、原爆のことが忘れられてしまう」。勇気を振りしぼって話し始めた被爆者の声を、見た光景を、絵に描いて記録する『次世代と描く原爆の絵』プロジェクトを追う。被爆証言者の記憶を、高校生が絵に描いて記録する4組の証言者と高校生を取材した、平和について考えるノンフィクション。

読書感想文Q&Aを参考にして前向きにチャレンジ！

Q1 読書感想文は、何のために書くのですか？

A：書くことによって考えを深められるからです。読書感想文を書くことを通して思考の世界へ導かれ、著者が言いたかったことに思いをめぐらせたり、わからなかったことを解決したりできるのです。ですから読書感想文は「考える読書」とも言われます。また、どんなに強く心を動かされても、時間が経てばその記憶は薄れてしまいます。読書感想文は自分自身の記録です。読み返すことによって、いつでも「感動した自分」に出会うことができるのです。

Q2 何をどう書けばいいかわかりません。どうすればいいですか？

A：本を読んで自分がどこに感動したのか、なぜ感動したのかを考えましょう。そしてもう一度本を読んでみましょう。自分の生き方や経験と本の世界とを照らし合わせると、いろいろなことが見えてきます。感じたこと、思ったこと、連想したことなどを忘れないうちに全部メモしておきましょう。そうしたら、順番を入れ替えたり内容を補ったりして、どう書けば自分の心の動きにぴったりするか、それがうまく人に伝わるかを考えましょう。先生や家の人と相談してみるのもいいでしょう。そうするうちに何をどう書けばいいのかわかり、自分が一番言いたいことは何なのかがはっきりしてきます。書き終わった後には、それまでとはどこか少し違った自分になっていることに気付くはずですよ。（※青少年読書感想文全国コンクール事務局編「読書感想文Q&A」より引用）

★「本は心の栄養」と言いますが、読書感想文を書くことで、考えが深まり、心が成長するということですね！今年も、読書感想文を前向きな気持ちで書いてみましょう！